

横浜市 令和3年度予算案説明会

2月18日（木）、横浜地域連合と連合神奈川は、横浜市庁31階レセプションルーム会議室において「令和3年度横浜市予算案説明会」を開催し、横浜市から予算案の説明を受け、意見交換を行いました。

予算案説明会冒頭、林横浜市長は「この度の予算編成は、コロナ禍の影響でこれまでなく厳しいものだった。何としても市民の皆様への命と健康を守り抜き、横浜に潤いと活力を取り戻していく、という強い思いで感染症対策の強化と、経済再生の実現を最優先に予算を作成した。この1年間、あらゆる方々と力を合わせて新型コロナウイルスとの戦いに挑んできた。今後も皆様と手を携え、市民の皆様の穏やかな暮らし、横浜経済の成長を実現していきたいと思う。変わらぬご理解とご協力をお願いしたい。」と挨拶しました。



挨拶をする林市長



挨拶をする高橋議長

高橋議長からの挨拶では、「昨年12月24日に提出した60項目の『政策・制度要求と提言』に対する回答をいただいた。新年度予算案では、横浜地域連合として提言を行った『新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制、救急医療体制の確保』や『小児医療費の助成』、そして『がけ地の対策を含む局地的な大雨等への対策の推進』等に予算措置を講じていただいた。誠意をもって対応していただいたことに対し、改めて感謝申し上げます。横浜の375万市民の皆さんが『横浜に住んで良かった』と思えるように、またコロナ禍を乗り越え、誰もが希望をもって生活できるように、引き続き市政に邁進していただくことを願います。」と述べました。

高橋議長からの挨拶では、「昨年12月24日に提出した60項目の『政策・制度要求と提言』に対する回答をいただいた。新年度予算案では、横浜地域連合として提言を行った『新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制、救急医療体制の確保』や『小児医療費の助成』、そして『がけ地の対策を含む局地的な大雨等への対策の推進』等に予算措置を講じていただいた。誠意をもって対応していただいたことに対し、改めて感謝申し上げます。横浜の375

引き続き行われた意見交換では、横浜地域連合・秋山議長代行より「未来を創る多様な人づくり」に関して「GIGAスクール構想の推進」について、「未来を創る強靱な都市づくり」に関して「局地的な大雨等への対策の推進」についての2点の質問を行い、それぞれについて回答を受けました。